

## 愛荘町の指定文化財④

紙本著色

# 熊野観心十界曼荼羅図

寶満寺蔵

平成二十年三月に町文化財に指定された熊野観心十界曼荼羅図は、縦145.2cm、横126.3cmの絵解き図で、愛知川の寶満寺に所蔵されています。箱書に「天保初

る半僧半俗の女性宗教者が勸進の際や、盂蘭盆会、施餓鬼などで死生観を絵解きするの

六乙未仲春修覆、琵琶湖東愛知郡磯部邑善法寺什物」と記され、既に廃寺になつて

浅井了意『東海道名所記』によると熊野比丘尼が「熊野の絵」と称される「老いの坂」「閻魔王の裁き」「女性の地獄」などを用いて、絵

法寺は石部神社の神宮寺か別当寺とされ、真言系の寺院であつたと考えられます。その後、昭和十二年（一九三七）に真宗の寶満寺に寄贈されました。

あり、この比丘尼が持ち歩いた説教絵が十七世紀以降にまとめられて、「熊野観心十界曼荼羅」として成立したと推測されます。

この曼荼羅図は熊野三山へ香華、燈明、仏供を奉納したり堂舎を修復するための勸進をした、熊野比丘尼と呼ばれ

「心」という字を中心に、四聖・六道の世界の結びつきを描き出しており、絵の上部は



大友 暢(歴史文化博物館)

「老いの坂」を描いて人の誕生から往生までを示し、下部には六道、特に地獄絵が繰り広げられています。

女性が多く描かれていることから、絵解きの対象は女性であつたと言われています。

絵解きをするのが比丘尼(女性)であつたこともこれに所以するのでしょう。

中央の「心」の字の元には、施餓鬼の様子が描かれており、供養することにより、すべてが救済されるという意味があるのです。

## 編集後記

薫風さわやかな季節を迎え、活動的に過ごしたい時期ではありません。しかし、まだまだコロナも終息にはほど遠く、何とか早く収まって欲しいと願うばかりです。

さてこの程、第35回町議会全国広報コンクールにおいて愛荘町議会の表紙デザインが、「表紙デザイン賞・銅賞」を受賞させていただきました。この表紙は、マンガ「3月のライオン」の川本三姉妹と一緒に学ぼう・手の洗い方を表紙にしコロナ感染症の予防を、子どもたちでもわかる表紙にしました。毎回住民の皆様に見てもらった。今回予算を

### 【発行責任者】

議長 伊谷 正昭

### 【広報常任委員会】

委員長 森野 隆  
副委員長 村西 作雄  
委員 澤田 源宏  
委員 村田 定  
委員 河村 善一  
委員 瀧 すみ江